

R6年度版(案)

帯山中学校の制服と身なり

教室掲示

冬季：ブレザー、リボン又はネクタイ、長袖ブラウス、スカート（スラックスも可）、靴下（黒タイツ着用可）
 夏季：ポロシャツ、規定のスカート又はスラックス
 中間服としてセーターを着用してもよい。
★白、ベージュ、グレーの無地の、シャツから透けて見えない下着をつける。

〔身なりの規定〕
 ◎帯中生としてふさわしい服装であること
 ◎質素で清潔であること

冬季：ブレザー、リボン又はネクタイ、長袖ブラウス、スラックス（スカートも可）、靴下
 夏季：ポロシャツ、規定のスラックス又はスカート
 中間服としてセーターを着用してもよい。
★白、ベージュ、グレーの無地の、シャツから透けて見えない下着をつける。

リボン

◎本校指定のリボンをつける。
 リボンの変形をしないこと。
 ※ネクタイの選択も可能。

スカート

◎スカート丈は、ひざがきちんとかくれる長さとする。
 ◎腰の位置をまげてスカートを短くしないこと。

靴下

◎男女とも、白、黒、濃紺の無地の靴下（くるぶしがかくれるもの）を着用すること。
 長さははく部分を折り返して同じ長さまで。
 ※ワンポイントは不可。

その他

◎カバン
 学校指定のカバンで、原則としてリュック式で使用する。改造、変形、落書き、シール、飾り物等は一切しない。お守りは1つつけてよい。
 ◎サブバック(全員購入)
 体育服入れ、カバンに入らない学用品入れとして使用する。
 ※紙袋、ビニール袋等は使用しない。
 ◎掃除の時の服装
 ※汚れの気になる生徒は、体育服で掃除を行ってもよい。
 ※冬は、体育服の上着を着てもよい。

髪型

◎帯中生らしい清潔感のある髪型とし、髪の長さは次のことを守る。
 ・清潔感のある髪型で、前髪は目にかからないこと。
 ・髪が肩にかかる場合は、黒、紺、こげ茶色のゴムで結ぶこと。（ビニールゴムは不可）
 ・ヘアピンは、スリーピン(パッチン留め)を使用してもよい。バレッタは不可。
 ・三つ編みはしてもよい。編み込みはしない。
 ・髪型の不自然な変形はしない。
 ・サイドを刈り上げる場合は刈り上げた部分が見えないようにする。
 ・後ろは極端に刈り上げないこと。
 ・髪の毛を折り返して結んでもよい。
 ・整髪料等は使用しない。
 ・パーマ（ストレートパーマも含む）、脱色、染色等は一切しない。

眉・その他

◎眉そり、眉抜き、化粧等はしない。

名札

◎男女とも胸のポケットの部分に学年色の名札をつけること。(入学時3個ずつ購入)

セーター

◎学校指定のスクールマーク入りセーターとする。名札をつければ、一番上に着用できる。

靴

◎通学靴・・・すべて白色のひも付き運動靴であること。靴底が平らな靴は不可。
 ※高価なものは履いてこない。
 ◎体育館シューズ・・・学校指定の靴であること。
 ◎上履き・・・学年色のもので、つま先に組数かかるとに漢字で縦書きに記名する。
 ※通学靴・体育館シューズのかかとも必ず漢字で記名

I型 制服



ネクタイ

◎本校指定のネクタイをつける。
 ネクタイの変形をしないこと。

ベルト

◎黒色、こげ茶色のベルトを使用すること。(派手なバックル、穴のたくさんあるものは使用しない。)

ズボン

◎自分の身体にあったスラックスであること。
 ◎ベルトの位置は腰骨の上とし、故意にズボンを下げてはかない。
 ◎ズボン丈は、ベルトを腰骨の上にしたときに上靴の学年色が見える長さとする。

II型 制服



